

と う ご う 議 会 だ よ り



普段の風景

雪の日の畑風景

第 102 号

2012年(平成24年) 2月 1日 発行

	ページ
■ 12月定例会・1月臨時会	2
■ 議案審議の結果一覧	4
■ 一般質問者12人	5
■ 常任委員会県内研修報告	12
■ 議会運営委員会県内視察研修報告	14

平成23年東郷町議会第4回定例会（12月議会）が11月29日から12月20日まで、22日間の日程で開催され、町長から、平成23年度補正予算案や条例改正案など17件、請願2件および議員提出で意見書1件が提出され、審議いたしました。また、1月12日には平成24年第1回臨時会が開かれ、平成23年度補正予算案など3件の議案を審議しました。それら議案の審議結果は4ページの結果一覧表をご覧ください。

一般会計補正予算

国・県からの交付金や補助金の額が決定したことにより当初想定した額との差を埋めようとするものや予防接種委託料など当初に想定した利用者数と実数の差が開き、それを埋めようとする補正がされました。

そのような中、保育教育環境の充実のため、生徒数の増加により教室数が足りなくなった兵庫小学校において視聴覚室を2分割し2教室をつくる工事予算や、保育園での3歳未満児の待機児童数を減らすためたかね保育園・音貝保育園で1部屋当たりの面積を削り、受け入れ人数を増やすための工事予算などが審議されました。

賛成

3歳未満児の保育環境の改善や兵庫小の教室不足解消のための補正予算。今年作成したばかりの第1次実施計画には何ら記載なく計画性には欠けるものの、子育て環境の整備は大切。計画的に改善し魅力ある東郷町へとしていく必要がある。

（井俣憲治 議員）

職員給与に関する条例

人事院勧告に準じ、職員の給与改正条例が提出されました。

反対

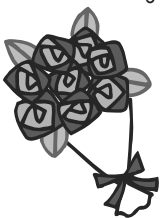
人事院勧告は労働基本権

人事案件

の制約への代償措置。それが賃下げの勧告をするのは制度趣旨からの逸脱。幹部職員中心の賃下げと言いながら中堅に及ぶ。人事院勧告の影響は大きく、安易な賃下げが国民の購買力を小さくし、更なる不況を招く負のスパイラルを生む。

（門原武志 議員）

人権擁護委員の中嶋照子氏が平成24年3月31日に任期満了となるのに伴い、新たに岡田恵利氏を選任しました。任期は平成27年3月31日まで。



請願

介護・福祉・医療など社会保障の
施策拡充についての請願書

自治労連、新日本婦人の会、民主商工会等により結成されている「愛知自治体キャラバン」から門原武志議員を紹介議員として提出されました。

県下各市町村が医療や福祉の切り捨てや民間委託など自治体リストラを進めることなく社会保障施策の拡充を進めるとともに税の滞納世帯への行政サービス制限をやめさせて欲しいなどといったものです。

賛成

社会保障費が削減され続ける今、幅広い施策を取り上げる意義は大きい。地方財政を困窮させた国にも意見書を出すべきだ。巨額の内部留保を溜め込む大企業

が応分の負担をすれば消費税増税は必要ない。原発、米軍思いやり予算、政党助成金にメスを入れるべきだ。

(門原武志 議員)

反対

請願内容すべてを否定するものではない。内容については行っているものもあるし、今後行うべきものもあるが、すべてを行うには財政的にも無理がある。意見書も無責任に出すべきではない。

(菱川和英 議員)

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願書

この請願は、愛知地区教職員組合から、近藤鑛治議員を紹介議員として提出されたもので、全員賛成で採択されました。

12月議会で採択した意見書

○定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書(要旨)

子どもたちにきめ細やかに対応するため、小学校第2学年以上における35人以下学級の実現を含めた定数改善計画の早期実施が不可欠である。また、全国均等に一定水準の教育を受けられるために、義務教育費国庫負担制度を堅持と国庫負担率2分の1への復元は、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。よって、可及的速やかに定数改善計画の早期実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元に向けて、十分な教育予算を確保されるよう要望する。

愛知県愛知郡東郷町議会

(提出先)

内閣総理大臣 内閣官房長官 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣

○愛知県の福祉医療制度の

存続・拡充に関する意見書(要旨)

住民の多様化する市町村への福祉サービス拡充の流れの中、市町村財政の状況によって県下で偏重をきたすことのないよう、以下のとおり要望する。

① 今後子ども医療費助成をはじめとした医療費助成制度が安定的に維持できるように、医療費助成を県の制度として堅持・拡大する。

② 多様化する医療福祉への住民ニーズに応えられる財政的支援のあり方を重点改革プログラム策定に際し積極的に検討する。

愛知県愛知郡東郷町議会

(提出先)

愛知県知事

平成24年臨時会
諸輪小学校の校舎増築工事
設計予算案を可決

平成25年から29年にかけて諸輪小学校で普通教室数が不足する事態に陥るのを回避するため、緊急に校舎を増築する必要があり、そのための設計費を臨時議会を開催し予算化しました。

生徒数自体はピーク時と比較すると少ないものの、現在、算数や理科の時間は2クラスを2グループに分割し少人数対応で授業がされており、現状でも教室のやり繰りが厳しい状況でありました。

そのような状況下、諸輪地区で小さな住宅開発があった点、そして近い将来、諸輪小学校においても「放課後子ども教室」を実施する計画がある点を考慮し、3教室分(1フロア1教室の3階建て)を北校舎の西側に建設するものです。



現在の諸輪小学校

議案審議の結果一覧

12月定例会

議案名	審議結果	加藤	川口	若松	水川	山田	井俣	加藤	近藤	石川	柘植	若園	箕浦	中川	門原	星野	菱川
		宏明	一夫	孝行	淳	達郎	憲治	啓二	鑛治	正	三良	ひでこ	克巳	雅夫	武志	靖江	和英
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
東郷町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会の議員その他非常勤の職員 の公務災害補償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び 費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町税条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町心身障害者扶助料支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛日地方教育事務協議会規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
尾張市町交通災害共済組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知中部水道企業団規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
尾張農業共済事務組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町国民健康保険 東郷診療所特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期実施と 義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×
定数改善計画の早期実施と 義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県の福祉医療制度の存続・拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

1月臨時会

議案名	審議結果	加藤	川口	若松	水川	山田	井俣	加藤	近藤	石川	柘植	若園	箕浦	中川	門原	星野	菱川
		宏明	一夫	孝行	淳	達郎	憲治	啓二	鑛治	正	三良	ひでこ	克巳	雅夫	武志	靖江	和英
平成23年度東郷町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町国民健康保険 東郷診療所特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東郷町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

一般質問は、議員が行政のいろいろな問題や、施策に対する方針や考え方を、町長をはじめ各部署の責任者に質問することができる大切な機会です。12月議会では、12人の議員が質問に立ちました。



町内放射線の測定、1月中旬に開始

石川 正 議員



【問】調達した放射線測定器の台数は。

【生活部長】 寄贈を含め空間放射線量測定器3台、放射線表面汚染測定器1台の計4台である。

【問】空間放射線量・放射性物質の有無・放射性物質の種類を調べるものがあるが、本町の目的になっているか。

【生活部長】 測定器は、空間放射線量、表面の放射性物質の有無を調べるものを調達した。空間放射線量測定器は、大気中のガンマ線量を測定できる。異常が認められる時は、表面汚染測定器で汚染場所の特定が期待できる。

【問】測定場所はどうか。

【生活部長】 保育園、学校などを基本とし、地形・風向きなどを考慮し定期的に測定したい。

【問】測定結果の公表は。

【生活部長】 町ホームページで週1回程度までが限度と考えている。公表は、慎重に行いたい。

【問】測定開始時期は。

【生活部長】 マニュアル整備、訓練を行い1月中旬からは実施したい。

【問】文科省は、給食材について暫定基準より厳しい40ベクレル/kgを通知した。本町のスタンスはどうか。

【教育部長】 給食材の放射線測定はしない。給食材の産地確認で対応している。体制、機器は高額であり、財政面からも困難である。

【問】これで給食材は本当に大丈夫なのか。

【教育部長】 業者へ産地の要請まではしていないが、西日本地域から調達してもらっている。



放射線測定器：左1台／表面汚染用
右2台／空間放射線量用

「じゅんかい君」再編にともない 現在の料金形態は維持されるか否か

若松 孝行 議員



【問】平成24年7月からの「じゅんかい君」再編にむけ住民懇談会が開催されたが再編案の特徴は。

【生活部長】北・東コースを統合し、双方向運行することで、人口集積の高い地区においてサービス水準の向上をはかることが可能となる。

【問】現在の料金形態は維持されるか否か。

【生活部長】現在の料金形態は維持し、再編時に一番重視することは、利用者を増やすことにより税金負担を減らすことができるように再編を実施させていただきたい。

【問】バス車両を2台更新する予定で新車両のデザイン募集したが応募の状況は。

【生活部長】小学生から大人の方まで多数応募があり20点超えの応募をいただいた。「じゅんかい君」に対する町民の関心の高さの現れと思う。



町民の足「じゅんかい君」

自主防災組織について

【問】「自主防災組織」とは。

【総務部長】地域住民が自分たちの地域は自分たちで守るという自覚、連帯感に基づいて自主的に結成する組織である。災害発生時に、災害による被害を防止し軽減するため、実際に防災活動にあたる「実践部隊」として結成される。

【問】自主防災の基本は何か。

【総務部長】町民一人ひとりの「自助」、地域社会が助け合う「共助」、行政の「公助」のつながりと協力が必要である。

既存の計画・施策の確実な推進で、 真の「子育てナンバーワン」へ!!

水川 淳 議員



【問】18歳まで無料化可決の際の報道対応は。

【企画部長】中日新聞に記事掲載依頼を発信した。

【問】三重県が小6までの助成を表明した。県や国の状況は。また要望は。

【健康部長】平成20年以降国での制度化に向け要望してきた。県には自治体間の格差解消を要望してきた。三重県の先行で、イメージの観点からも県の制度拡大に期待したい。

【問】中学卒業生の経済的理由での就職の事例は。

【教育部長】ここ3年間ではないと把握している。

【問】放課後子ども教室の展開計画と地域連携の現状は。

【教育部長】平成24年度に音貝小を予定。平成25年度以降は調整中。各所とも外部講師は極力地域でお願いをし、児童館との相互交流、町民会館図書館の利用、文化協会との交流などを実施。

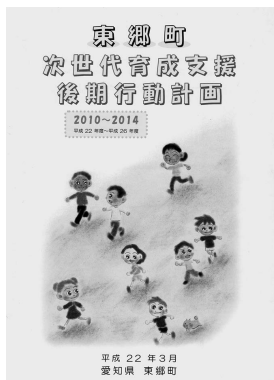
【問】西部保育園を除き土曜日の保育時間は14時まで。土曜日の時間延長の考えは。

【福祉部長】今のところ考えていない。土曜日の19時までを理由とした西部保育園への希望者もあると聞いている。

近隣自治体との連携・広域行政の今後の考え方について

【問】1月から愛知郡は本町のみとなる。影響は。

【町長】町村の数の減少は、町村の数が小さくなるということ。一方、町村会で常に郡の理事となるため情報が早く量も増える。いずれにしても県とのパイは懸念される。



既存の子育て支援に関する計画の一例

東郷診療所の今後の方向性について

近藤 鑛治 議員



【問】 継続に向けて考えは。

【健康部長】 公設診療所としての役割と経費とのバランスを取りながら考えていきたい。平成21年度より実施の経営改革、改善は継続する。疾病の治療に加え、予防という見地から取組みを進めていく。新たに肺がん予防の禁煙治療を診療科目に加える。訪問看護ステーションの充実強化を図っていく。

【問】 スタッフの増員は。

【健康部長】 黒字化することだけが目的ではないと考えている。公的役割について住民のご理解をいただきながら、代診医・看護師の必要性はバランスを考えて行なう。

【問】 今後の見直しは。

【健康部長】 何年後にするとは考えていない。ターニングポイントがくればそのついで相談を。

【問】 診療所の建物、医療機器の検討については。

【健康部長】 修繕計画、保有医療機器の更新は専門

家に調査を依頼し調査結果によって計画をする。

職員の行動規準実践は

【企画部長】 職員一人ひとりの意識改革であると考えている。実践例として職員の名札デザインを一新、庁舎内部の伝達方法の徹底、毎週月曜日の朝ラジオ体操等、他にも実施。

【問】 研修、自己啓発の取組みについて。

【町長】 研修は基本の繰り返しで、短期間ではできない。長いスパンで取り組む。町の基本的な方針を職員と個人面接を実施しスタンスを揃えている。



東郷診療所全景

イメージキャラクター(ゆるキャラ)を!

山田 達郎 議員



【問】 東郷町は特産品も含めて全国に発信する力が弱い。まずは東郷町を知ってもらうことが企業誘致などにもつながり、夢と希望のきっかけにゆるキャラを作って欲しいが。

【企画部長】 本町にはあやめちゃん・もっこくんとあるが、ゆるキャラについての話はよく出る。実現したい。

【問】 町内で公募し早く実現できるようにお願いしたい。

【企画部長】 公募する。

企業誘致の進捗状況は

【建設部長】 条例の奨励措置は1件が該当し、その他には具体的に4件が進出を検討中で、その内1件が社内検討に入っている。町では地元説明会も開催予定である。

【問】 東郷町は土地の問題があり工業系も必要だが土地のいらぬ分野の企業誘致の考えは。

【建設部長】 現在担当職員2名で行っていて次に目

を向けられないが、ベンチャー企業の支援など商工会に協力を求めていく。

保育園兄弟最優先について

【問】 保育園の兄弟枠は優先になっっているものの1番に優先されていないために兄弟バラバラに送迎などで父母の負担が大きい。兄弟最優先にしたい。

【福祉部長】 3歳未満児の入園希望者が多く、乳児室の増設をしないと困難。

【問】 1歳・2歳児で保育園に入れようとする枠がとも少ないので保育園のことを考え、0歳児から入園する方がいる。今後重要検討にしてほしい。

【福祉部長】 検討する。



こんなのいかが？

一般質問

子どもはまちの宝物 ～教育環境と子育て～

星野 靖江 議員



【問】児童生徒を対象に放射線教育の副読本が公表されたが、その取扱いは。

【教育部長】冊子を注文し指導書を参考に各学校で理解と啓蒙に役立てたい。

【生活部長】ホームページに掲載した。今後は子どもたちを最優先に放射線量計を活用し不安を感じさせないよう努める。

【問】学校教育における環境学習と考慮した場合の取り組みは。

【教育長】新学習指導要領により循環型社会の構築達成に向け「エネルギー資源教育」を計画。

【問】学校施設は児童生徒の安全な場所・地域の避難場所である。施設の老朽化が懸念されるが大規模改修計画は。

【教育部長】計画書作成業務を開始した。今年度は現状を把握・調査に取組み、その後は実施計画に基づき推進する。

町独自の私学助成は

【問】学業に専念できる修学支援事業の見解は。

【町長】議会からの申し出もあり新たな助成支援の実施に向け考慮したい。

高齢者福祉の新事業は

【問】第4期～第5期高齢者福祉計画が策定され、移行期を迎えた。次年度からの新たな取組は。

【福祉部長】①24時間定期巡回・随時対応型訪問介護・看護 ②地域密着型介護老人福祉入所者生活介護の整備 ③認知症見守りボランティア派遣事業 ④災害時要援護者支援の実施。例えば、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に尾三消防署と連携し「救急安心カード」を配布予定。



とある日の社会福祉協議会の窓口（移設後）

一般質問

防災・消防「機能別消防団員」制度の創設について

加藤 啓二 議員



【問】特定の分野だけを担当する、機能別消防団員制度を平成24年度で創設を検討をされているが。

【総務部長】消防団OB及び消防団員経験者とし、年齢は60歳～75歳くらいまで、健康で身体が頑丈で、さらにやる気がある方と考えている。人員は90名程度。

【問】組織は、基本消防団に属するのか。

【総務部長】基本消防団とは別組織であるが、消防団長の指揮系統の組織である。

「消防団協力事業所表示制度」について

【問】消防団の活動しやすい環境整備が求められて、各事業所の消防団活動に対する理解と協力が必要とされる表示制度の取り組みは。

【総務部長】現在実施していない。



消防団協力事業所表示

【問】予算が少なく設置できる防災倉庫「防災コンテナ」の設置について。

【総務部長】備蓄品や備蓄資材等は、十分とは言えない。各避難所に配置した方が効果的であることから、学校に置く防災倉庫設置事業を実施計画で計上をしているが、厳しい財政状況の中、採択されない。「防災コンテナ」を防災倉庫として活用することも検討する。

※他に「AEDの設置・講習について」「東郷町地域安心メールについて」の質問をした。

精神疾患などで病氣休養する教員のメンタルケアの取り組みは

..... 箕浦 克巳 議員



【問】文科省の調査に精神疾患で休職した教員数は過去最高の548名を記録し、17年連続で増加とあるが町の現状はどうか。
 【教育部長】過去にはいいが、本年度はいない。
 【問】好ましい結果となっているが要因は。
 【教育長】校長をはじめ、職員の努力と、子ども全体が素直なことである。
 【問】欠勤された時、児童生徒に及ぶ影響は。
 【教育長】学級運営を持つ教員の場合、教務・校務で対応し影響がないようにしている。
 【問】病気の早期発見・予防の取り組み。
 【教育長】心のありようを週指導案簿のやり取りで把握する。在校時間が100時間を超えると受診できるシステムもあるが、本町ではいつでも受診可能としている。東郷診療所での対応できるシステムになっている。

避難所運営ゲーム HUG「ハグ」について

【問】避難所を運営する体制はどうなっているか。
 【総務部長】愛知県のマニュアルに準ずるが、具体的には検討中である。
 【問】静岡県の危機管理局が開発した「HUG」に対する見解は。
 【総務部長】机上訓練にもってこいのものだと認識している。
 【問】本町でも「HUG」を使用して学校や地域で体験することは有効と考えるがどうか。
 【総務部長】まずは職員に静岡県の講習を受けさせていきたい。



避難所に指定されている音貝小学校

一般質問

備えて安心、救急時の「救急安心カード」

..... 若園ひでこ 議員



【問】町内のひとり暮らしの高齢者（65才以上）の方は何人か。
 【福祉部長】特養の入所者を除いた1034人。
 【問】高齢者のみの世帯数は。
 【福祉部長】137世帯。
 【問】ひとり暮らしの高齢者・高齢者のみの世帯・障がい者の方・健康に不安を抱える方の救急時に、安心を確保することを目的とする「救急医療情報キット」が、他の自治体で活用されている。これをどのように思うか。
 【福祉部長】駆け付けた救急隊が、意識のない高齢者にも、適切に対応できるようにと、行っていることを承知している。高齢化に伴い、ひとり暮らしの増加傾向にあるので、迅速な対応が求められる。緊急連絡

救急安心カード

私の記録		平成	年	月	日	記入
ふりがな						
氏名						(男・女)
明治	大正	昭和	平成	年	月	日生
住所						
電話番号						
今までにかかった病名と何年頃どこで治療しましたか。						
① 病名	平成	年	月	頃	病院で治療	
② 病名	平成	年	月	頃	病院で治療	
緊急時の連絡先						
① 氏名						(続柄)
電話番号						()
② 氏名						(続柄)
電話番号						()

尾三消防本部
救急安心カード

先・かかりつけ医等の記載された「救急医療情報キット」を配布することは必要と考えている。
 【問】東郷町での活用をどのように考えるか。
 【福祉部長】今年度から尾三消防本部が、救急安心事業として本町に登録されている65才以上のひとり暮らし高齢者の中から、70才以上のひとり暮らし高齢者に対し防火訪問時に救急安心カードを配布している。災害者要援護者登録者の方には、平成24年度からの配布を予定している。
 【問】尾三消防署と同じカードを使うのか。
 【福祉部長】同じものを利用を考えている。

外観からも魅力ある街へ商業奮起対策を

加藤 宏明 議員



【問】 悲しいかな本町が抜けた長久手町・日進市・みよし市の魅力を集めた雑誌記事をよく目にする。忘年会すら本町で開催場所が少ない現実。飲食店の状況は。

【経済建設部長】 平成18年度で90店舗、従業員数52人、長久手町は100店舗、従業員数2130人本町は店舗規模が小さいといえる。

【問】 地元消費比率18%と聞くが近隣の状況は。

【経済建設部長】 消費者が町内で買物する割合188%、長久手町43%、日進市46%、みよし市62%。

【問】 日進市の「コーナン」「トトリ」などの出店経緯、誘致経緯は。

【経済建設部長】 昭和45年当初の線引き（市街化区域の指定）の際に市街化区域だった。本町には、現在立地スペースはない。

【問】 15年程前、本町・長久手町・みよし市の人口は3万人台、現在は本町4万人台、長久手町5万

人台、みよし市6万人台増加率に差が広がり、買物施設、宴会施設がない。過去の施策に問題あり、商工会等との関係を密にし、誘致を含めた商業奮起対策を聞きたい。

【町長】 議員の嘆きの要因は市街化調整区域ばかりで商業出店場所が少ない現状にある。第5次総合計画を進行させ商業施設を誘致し町中心部の活性化を図る目的で「東郷セントラル土地区画整理事業」を支援している。長久手町が市制をひき1郡1町となり、本町の将来は当事業に掛かっている。ご理解をいただきたい。



「東郷セントラル土地区画整理事業」予定地

放射能汚染から住民を守るために

門原 武志 議員



【問】 尾三衛生組合が東日本大震災によるがれきを現時点では受け入れない」と表明した。説明を。

【生活部長】 理由は①住民の納得が得られない②焼却灰の処分場が確保できない③処理基準や国の体制が未整備④作業中の安全確保など尾三衛生組合の体制が整えられない。

【問】 給食食材を放射能検査する自治体が増えていくが東郷町の考えは。

【教育部長】 機器購入費と体制の問題から町独自の検査は考えない。

【問】 食材の産地を保護者に知らせる考えは。

【教育部長】 風評被害につながるのではない。

【問】 給食だよりで放射能が触れられていないが。

【教育部長】 どう取り上げるか検討したい。

【問】 東郷町にも食材を納めている愛知県学校給食会が独自の放射能検査を始めたことへの評価は。

【教育部長】 生産者として必要な検査をしていると評価している。

【問】 情報収集の状況は。

【教育部長】 リスクが考えられる食材の流通について収集している。食材選定に影響した事案はない。

【問】 国民健康保険税の減税。

【健康部長】 医療費が増えており財政的に困難。

【問】 国保税減税の考えは。

【問】 国保税減税の考えは。

【問】 国保税減税の考えは。

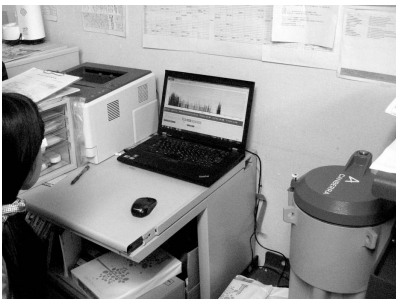
【問】 国保税減税の考えは。

【問】 国保税減税の考えは。

【問】 国保税減税の考えは。

【問】 国保税減税の考えは。

【問】 国保税減税の考えは。



NaIシンチレーション核種分析装置を使った食品の放射能検査の様子(市民放射能測定センター)

民間の感覚とズレている 子どもたちの安全、地域の安心を最優先に

井俣 憲治 議員



【問】台風により兵庫小学校の屋根が剥がれた件について、どこに瑕疵があったのか。

【教育部長】設計上か施工上かは別として請負った会社に何らかの瑕疵があったとの認識で統一している。

【問】原因を作った会社が原因究明し改修すると聞いている。民間の感覚と大きくズレている。オリパスや東京電力のように第三者機関による原因究明が必要ではないか。

【教育部長】契約書に「瑕疵があった場合、業者に対し修補を請求するか損害賠償請求をする」とある。一義的に業者に修補請求する。

【問】契約書にある「瑕疵の判断」は誰がするのか。

【教育部長】業者が瑕疵を認めれば問題にならないと思う。

【問】だからどこに瑕疵があったかが問題になる。屋根だけでなく躯体

まで大丈夫なのかと不安になる。

町が大金をかけた施設が、住民の安心安全の一翼を担う施設がこういつた形になり、その上、相手方の言い分を一方的に認める姿勢はおかしい。これを東郷町の先例として今後もやっていくのか。

【教育部長】改修費も全額負担してくれるということで大変紳士的な業者。改修も依頼した。

※この他「町の条例体系について」と「巡回バスの現状について」質問しました。



台風で剥がれた兵庫小の屋根

議会活動レポート

◎議員全員で普通救命講習を受講

さる12月5日、尾三消防本部による「普通救命講習」を受講しました。日頃は、AEDの設置状況など安全安心の各種施策について、当局に対して状況を尋ねたりお願いをしている我々議員も、まずは実践を、ということとで全員参加により講義・実技と、盛りだくさんの3時間を過ごしました。

尾三消防管内での、119番通報から救急車到着までの時間は約6.4分とのことで、全国平均より1分以上早いそうですが、心臓や呼吸が止まった人が助かる可能性は10分間に急激に少なくなるため、到着までの時間は特に大切だということをご指導いただきました。

病人の確認、通報、人工呼吸、AEDの取り扱いなど「救命のリレー」を実際に模擬訓練し、終了後には「普通救命講習I終了証」を交付いただきました。

尾三消防本部では一般の方々を対象とした講習会も開催されているようですので、ぜひ、受講してみたいかがでしょうか。



実習の一コマ



3月定例会の日程

- 2月24日 本会議（議案上程）
- 3月5日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議
（一般質問・議案質疑）
- 13日 予算特別委員会
- 14日 予算特別委員会
- 15日 常任委員会
（総務経済・文教民生）
- 22日 本会議（討論・採決）

3月議会では、平成24年度の予算案が審議されます。

本会議は10時開始、委員会は9時開始です。ぜひ、傍聴にお越しください。



委員会研修

11月に、県内各地の先進事例を視察しました。

総務経済委員会

11月17日(木)総務経済委員会は県内研修を行いました。

■美浜町

【研修内容】同報無線及びエリアメールについて

「安心・安全なまちづくり」の防災対策に対する取り組みで、予想される東海・東南海・南海地震対策として、デジタルMCA同報無線設備を愛知県内で初めて導入されました。基幹防災システム構成として、



美浜町役場防災安全課窓口

屋外拡声子局、戸別受信機設備を小学校・保育所・図書館及び各世帯(自宅)に設置し、災害時はもちろんのこと、平常時においても地域行事のお知らせ、防犯情報など日常コミュニティの手段としても利用されています。またエリアメール・美浜町メールサービスの運用で、住民への充実した情報構成を整えています。

■常滑市

【研修内容】ごみの減量化及び資源化施策について

ごみの減量化及び資源化を促進することで、ごみ処理経費の削減を図り、さらに公平な受益者負担のシステムを構築することとして、広く市民の英知を集め、ごみの減量化及び資源化施策を具体的に検討する市民会議を設置されました。

【研修内容】企業立地優遇制度について

中部国際空港(セントレア)の空港島、空港対岸部による中部臨空都市&中部国際空港セントレア計画を推進し、常滑市企業立地優遇制度を活用した企業誘致を積極的に推進され、愛知県初の次世代自動車向けリチウムイオン電池メーカーの進出など関連企業等の誘致を積極的に進め「電池のまち」といわれる目標を持ち、企業誘致を推進しています。

●研修内容についての

意見や感想及び提案

MCA無線は専用波と比べ設備費用が少額であるので検討する課題であると思います。またエリアメール、メールサービス等を含めた基幹防災システム構成をして、東郷町が災害に強いまちとしていく為の提案をし



常滑市役所にて

たいと思います。

美浜町は「安心・安全なまちづくり」として災害から生命・財産を守る為には、災害発生時における災害情報を「同時に、迅速に幅広く」伝達をする構成として、デジタルMCA無線を愛知県内で初めて導入しました。JIALERTからの緊急を要する情報を伝える同報無線の整備は、各地行政区でも早急に運用の検討されているが、同報無線を整備するには多額の設備投資が必要とされます。

(委員長 加藤啓二)

常任

各常任委員会は

先進地の事例を視察

文教民生委員会

11月21日、文教民生常任委員会は愛知県内研修として江南市、北名古屋市を訪れました。

■江南市

同市では平成19年度より図書館の運営を指定管理者制度を使い成果を上げています。安易に図書の貸出・返却ができるシステム作り等により貸出者数は大きく伸び、住民に好評を得ているとのこと。費用についても10%以上のコストカット



江南市役所

に成功しているとのことでした。同市は現在、図書館に市職員を配置していないとのこと。指定管理者との連携は書籍発注等の協議の場において連携を図っているとのことでした。本町でも図書館での指定管理者制度の導入に向け積極的な議論が必要であると痛感いたしました。

■北名古屋市

同市では「あたがいさまねっとメール」「思い出ふれあい事業」について研修をいたしました。あたがいさまねっとメールとは、認知症等による高齢徘徊者の捜査願い情報配信サービスです。この事業にかかる運営はすべて外部発注で、初期経費一万円、年間経費三万円とのこと。市民より「活字での情報で伝達が正確で効果的」と好評を得ているとのこと。今後は「パト



北名古屋歴史民族資料館に常設された「昭和の風景」

ネットあいち」等との連携を含め、改善を図りたいとのことでした。費用対効果を考慮しても近々、本町での導入すべきと感じました。「思い出ふれあい事業」では回想法センターでの事業について研修を致しました。地域の高齢者に楽しんでいただきながら「仲間づくり」をしていただき、古き良き頃を回想していただく中で認知症対策をすることでいいものですね。何より地域の高齢者の皆さんが楽しく過ごせる仕組みづくりが認知症対策になり、そして医療

費削減につながる。であれば是非、本町の高齢者の皆さんにも楽しい時間を過ごせる仕組みづくりが急務であると認識させられました。

東郷町の高齢者福祉の中心を高齢者の笑顔づくりにすると言つように、「コペルニクスの転回も必要である」と感じました。

今回の成果をしっかりと東郷町の住民福祉向上に繋げ、住民の負託に答えるべく一層の努力を委員各位には望むところであります。

(委員長 井俣憲治)



北名古屋市の回想法センター

議会活性化 特別委員会研修

10月24、25日の両日、議会活性化特別委員会は大阪府熊取町と三重県亀山市を訪ね、開かれた議会に関する先進事例などを視察しました。

熊取町では議会基本条例を制定し、骨子に、気軽に参加できる議会、わかりやすい議会、開かれた議会、活力ある議会、としている。議会報告会を議会だよりの内容について行い、年間全40地区で行っている。本会議場で議員同士の自由討議を認めている。執行側に反問権を認めている。

亀山市はコンサルタント



菰野町議会

を使って議会基本条例を制定している。議員間の自由討議を認めている。議長・委員長の許可があれば市長等に反問権を認めている。議会報告会はまだ行っていない。ケーブルテレビで一般質問の生放送及び録画放送をしている。本会議・予算特別委員会の映像をインターネット録画配信している。

菰野町はマイクと連動のカメラで文書や写真を写

すことが可能となっている。防災無線・ホームページで議事日程を周知している。傍聴席で2台のモニターテレビも見れる。傍聴者は記入した用紙を投票箱のような箱に入れて、傍聴券を首にかけて傍聴する。

政務調査費は熊取町月額一万円、亀山市月額二万円、菰野町月額三万円。議会研修費は熊取町では行政改革の流れの中で平成20年以降少しずつ減少している。亀山市は委員会一人につき7万5000円、菰野町は平成23年度も20万円の補正予算をつけて研修しているので予算は比較的自由なようである。今回の研修ではそれぞれの議会の意識、あり方の違いが出ていた。議員としての自覚、意識に目標

議会運営委員会 研修

11月24日、議会運営委員会は豊山町議会、扶桑町議会を訪れ、議会運営について先進事例を研修しました。

を持って勉強してどのようにならなければならないかを考えさせられた研修だった。

(委員長 菱川和英)

一般質問はどちらも通告制で解りやすく記載するようになっている。豊山町では事前に通告説明会を行っていたという違いがあった。議案質疑はどちらも通告制



扶桑町議会

にはしていなかった。議会運営委員の選任方法は違っていたが公正な選び方になるような配慮があった。陳情の取り扱いについて少し違いがあったが、審査に向きの取組をしていた。委員会記録は豊山町は全文筆記。扶桑町は録音で、いずれも業者委託して会議録を作成していた。委員会研修は豊山町が事務局案を検討して決めていたのが特異である。組合議員の選出方法は違いが明確だったが、扶

桑町の選出方法が公平にな
されていたのには新しい視
野を見せられた感があつ
た。どちらの議会もそれぞ
れ、議会運営に特色があり、
参考にすべきことが多かつ
た。

もっと多くの市町のあり
方を学び、東郷町でより良
い選択を模索すべきと思
う。今回の研修の成果とし
て陳情の取り扱いについて
前向きに検討することにし
た。

(委員長 菱川和英)



豊山町議会

文教民生委員会緊急視察 兵庫小学校屋根工事を現地にて確認

文教民生常任委員会は、委員
全員（8名）に議長・総務経済
常任委員長を加えたメンバー
で、兵庫小学校の屋根改修工事
に関する視察を行いました。昨
秋の台風12号の影響で、兵庫小
学校の屋根が剥がれた事件の改
修工事に、東郷町議会としても
厳しい監視の目をもって対峙し
ていく必要があるとの観点から
特別に構成されたメンバーで実
施されました。

平成24年1月4日、東郷町主
催の年始会終了後、兵庫小学校
の改修工事を視察し、現場にお



工事現場



業者の説明に耳を傾ける

いて改修工事を行っている(株)東郷シーエヌエス（兵庫小学校は民間資金を使ったPFIという仕組みで建設されており、(株)東郷シーエヌエスは建設に関連した複数企業による連合体である会社）の構成員である松井建設の社員や日建設計の社員に対し質疑の場を持ちました。

子ども達が日々集う小学校という施設が、地域の皆さんが災害時に避難所となるべき施設が、安全で安心できる施設であるように議会として積極的に関わってまいります。

陳情の取り扱いを明確化

議会運営委員会において先進事例などの研究の結果、従来は議員各位の判断に任されていた陳情の取り扱いについて、今後は議会運営委員会で取扱うべきと判断をしたものは請願と同様に扱うことといたしました。

※「陳情」と「請願」

○陳情

特定の事項についての利害関係を有する住民が、役場などにその実情を訴え、当局の適切な措置を求めるとして、請願と異なり法的保護を受けるものではない。

○請願

国や地方公共団体などに、法律・命令・規則の制定・廃止・改正その他の事項に関し、文書で希望を申し出ること、憲法で認められている国民の権利の一つ。議会には議員の紹介により提出しなければならない。

読者の広場

今回は、3人の方からのご意見をお寄せいただきました。

●質問

Q：傍聴には一度も行ったことがありません。傍聴にはどのような方がお越しになるのでしょうか？また、毎回何人くらい来るのでしょうか？（63歳・男性）

A：日頃から町政に関心がある町民や、支持する議員が質問する日にお見えになる方が多いようです。注目される議案の採決日や、当選後はじめて一般質問に立つ議員の支援者で多くの席が埋まることもあります。ほとんどの場合、数えられる程度が現状です。議会開催日には役場1階ロビーに設置されているテレビモニターでも放映されていることもあり、そちらでご覧になる方や、それを見て議場でご覧になる方もいるようです。ぜひ一度傍聴にお越しいただき、感想やご意見お聞かせください。

Q：議員さんの「視察」は、どのような場所に行くのでしょうか？外国に行くようなことはあるのでしょうか？（40歳・女性）

A：視察研修は、各常任委員会・議会運営委員会・各特別委員会ごとに、それぞれの委員会所管で直面する課題について先進的に取り組んでいる自治体や議会を訪ね、担当者から講義いただいたり、実際に現地視察をさせていただいています。具体的な視察先や内容は議会だよりを通じて逐次ご報告させていただいております。海外視察については、直面する課題への必要性和、費用と視察成果を考慮し、東郷町議会では少なくともここ数年は実績はありません。

Q：議員さんは、公務として月に何回くらい役場に行かれますか？（50代・男性）

A：「公務」という言葉の定義が難しいですね。回数は後述のとおり議員によって差があるかと思いますが、議員が役場を訪れる場合、そのほとんどは「議員の仕事(役割)」のように感じます。本会議や委員会(狭い意味での「公務」)は応召簿や出席簿に署名・押印し、正装で入場・入室しなければなりません。それ以外に、住民からの要望や、課題研究のために担当部署を訪ねる場合もあります。最近は情報ツールの発達や業務効率化の観点から、電話やメールの活用機会も増え、この場合訪庁する必要はありません。逆に庁舎だけでなく、学校や保育園など他の公共施設や、例えば道路など危険箇所の現場へ出向き、生の声を聞くこともあります。また、議長や副議長、委員長など職務によっても役場に行く機会に差があるように感じます。ぜひ身近な議員にたずねてみてはいかがでしょうか。

みなさまのご意見大募集!!



ご意見ありがとうございました。引き続き、

- 議会に質問(特に子どもからの質問大歓迎)
- 議会にももの申す!(議会へのご意見・ご要望)
- 傍聴レポート(議場のお気づきをお聞かせください)

など、ご意見・ご質問お寄せください。

表紙などの写真も募集しています。

宛先：議会だより編集特別委員会 〒470-0198 愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地 TEL0561-38-3111

議会だより編集委員

委員長
副委員長

水川 淳
近藤 鑛治
川口 一夫
井俣 憲治
柘植 三良
箕浦 克巳
門原 武志
菱川 和英

編集後記

昨年は東日本大震災・台風など自然災害から教訓に「人と人の絆」の大切さ、「防災対策の必要性」を実感した年でした。町民の皆さんが「この町に住んで良かった」といえるよう今後も議会活動に取り組んでまいります。

また、読者の広場を、議会に対するご意見・ご質問に込めるコーナーにし、中学生からも質問を頂いています。議会だよりを多くの皆さんにご愛顧頂くよう委員一同努めてまいります。

(近藤鑛治)